

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金  
2018年度 事業報告書  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

【2018年度概要と成果】

- ・ 2018年度は、地域課題の掘り起こしとマルチステークホルダーをつなぎ公益の増進を推進することを目的に、地域円卓会議の開催やコレクティブインパクト事業、連携・協働を重視した助成公募を実施しました。関係者からは多様な資源を仲介する財団として評価をいただきました。
- ・ 当財団の実績や機能、特に資金提供に係る審査選考、現場の団体への伴走支援・基盤強化支援を評価をいただき、新たに助成業務委託を受けることができました。
- ・ 財政的には課題が残り、職員の退職による人件費の削減を行いました。寄付金額も減少していることから、改めてコミュニティ財団として地域課題の把握・分析、包括的な支援プログラム・事業の設計をした上での資金調達の必要性を実感した年でした。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

1. 助成事業

(1) 事業指定助成プログラム

事業計画に基づき、第7期の助成先募集、決定、寄付募集を行いました。

本プログラムは、公募・審査を経て採択された公益活動（事業）に対して市民公益活動団体（NPO）と当財団が一緒になって寄付を集める資金調達プログラムで、当財団はホームページ内に専用ページの設置や寄付カタログの提供を行い、寄付を募りました。

また、採択団体に資金調達に関する研修や事業概要を周知する場づくり（シェア会議）を行いました。

- ・ 寄付募集期間：2018年10月1日～2019年3月31日

事業名・団体名	目標額	寄付額	件数	達成率	助成予定額
親の離婚を経験した子どもたちの「心」に寄り添うサポーターを育てるプロジェクト（NPO法人ウィーズ・習志野市）	780,000円	288,500円	31	36.98%	230,800円

(助成金拠出は次年度実施します)

(2) テーマ・地域型基金

ア. 子どもの今と未来を支える基金

未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会をつくるために当財団が設置したプログラムで、リーフレットやウェブサイトを活用し寄付を募りました。個人寄付や寄付付き商品による原資を積み上げ、助成と伴走支援も合わせて実施しました。

(ア) 2018年度助成事業

- ・ 公募期間：2018年5月28日～6月15日
- ・ 助成総額：1,000,000円

・助成先：

団体名	所在地	事業名	助成額
NPO 法人ほっとすぺーす・つき	佐倉市	家庭訪問型子育て支援『ホームスタート・さくら』普及のための冊子づくり	430,000 円
NPO法人 Art for Children's SHINE	富津市	児童養護施設野の花の家（木更津市）でのアートセラピー活動の継続的实施と作品展／ワークショップの開催	350,000 円
松戸市 10 代向け情報発信・調査研究プロジェクト	松戸市	松戸市 10 代向け情報発信・調査研究事業	220,000 円

・助成対象期間：2018 年 8 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

### (イ) 助成事業成果報告会

2016 年度に助成をした 3 団体の活動成果報告会を 6 月 16 日に千葉市ビジネス支援センターで開催しました。報告団体は、NPO 法人ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク、NPO 法人ウィーズ、NPO 法人カフェ・バルコニーの家で、いずれも制度ではカバーされない活動であるため、活動が継続できる資金のほか、専門性を持った担い手を育成し、働き続けられる体制整備が求められていることがわかりました。

### (3) 冠基金プログラム

#### ア. さくら基金

児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集とプログラム企画立案のためのヒアリングを行いました。

#### イ. 生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金

2016 年度に助成した 8 団体の成果報告会を開催しました。後半は「助成事業の成果を活かす次の戦略」と題し、公益財団法人地域創造基金さなぶり専務理事の鈴木祐司さんを講師に迎え、助成団体向けにセミナーを開催しました。

本基金の実施については、この報告会をもって終了となりました。

## 2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行ないました。

### (1) 多様な寄付の機会の提供

- ・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：新規設置なし（合計 6 台）
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・ブックオフオンライン・ボランティア宅本便：寄付件数 2 件
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：8 ヶ所

これらの寄付金は公益目的事業運営として一般寄付金になります。

- ・募金箱の設置：1ヶ所
- ・寄付付き商品：認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等をパルシステム千葉、生活クラブ生協の組合員向けに販売しました。  
これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付になります。

## **(2) 情報共有の場づくり**

### **ア. 地域円卓会議**

地域の課題を共有し資源を持ち寄り持続可能な仕組みをつくることを目的に、「いちはらの未来を考える地域円卓会議～地域課題解決のための、多様な担い手の連携を目指して」を市原市と共催で12月1日に夢ホールで開催しました。メインテーマは「10年後の団地の姿から地域づくりを考える」で、連合自治会会長による論点提供者のほか、学識者、行政、事業者、NPO、メディアのマルチステークホルダーによる着席者の情報提供から、会場全体による意見交換を行いました。

当日は、行政、議員、住民など53名が参加し、10年後、20年後も安心して暮らせるまちになるための、課題や事例を共有する機会となりました。

### **イ. シェア会議**

地域社会の課題について発信する場をつくり、関心層、関わる人を増やすことを目的に「つたえる・つながる・シェア会議～地域社会の課題解決のためにできること～」を12月15日ホテルメイプルイン幕張で開催しました。

当日は23名が参加し、第一部は、NPO法人ウィーズ（事業指定助成プログラム第7期助成団体）理事長光本歩さんより、親の離婚を経験した当時者としての気持ち、現在の支援の課題をお話いただきました。第二部は、地域の「困りごと」を単独あるいは二者間での解決型から、地域全体が協働して解決していく地域円卓会議・コレクティブインパクトの可能性について実践事例を交えながら紹介しました。

### **ウ. 松戸コレクティブインパクト事業「孤育てを防ぎ、子育てを地域で支え合うプロジェクト」（全国コミュニティ財団協会委託事業）**

多様なセクターが枠を越え互いに強みやノウハウを持ち寄り、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変革を推進することを目的とした事業で、全国コミュニティ財団協会から受託し2016年度より実施しています。

今年度は、子育て当事者の声を拾うと同時に、行政を含む支援者等による円卓会議、報告会を実施しました。当事者に情報が届くウェブサイトの立ち上げ、支援者ネットワーク会議の開催、地域での機運醸成のための広報ツール活用を軸にプロジェクトを継続実施していくこととなりました。また、地域型基金立ち上げに向けたプロジェクト実施体制・内容を構築することができました。

## **3. 助成業務等支援事業**

### **(1) 「千葉日報子どもの育ち応援基金」資金助成に関する業務委託（委託事業）**

公益財団法人千葉日報福祉事業団では、子どもの育ちを応援する団体の活動を支援するため、3年間の期限付きで本基金を設立しました。資金助成に関する業務について当財団が受託しました。

今年度は、2019年度助成に係る募集要項・申請書の策定、募集説明会、個別相談、申請受付、選考会・贈呈式の運営等を実施しました。

#### **4. 他機関等との連携**

##### **(1) 一般社団法人全国コミュニティ財団協会**

全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織です。

当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めています。

今年度は、以下の事業に参画しました。

- ・プログラムオフィサー研修参加（佐賀・東近江）
- ・ガイドラインを活用した第三者委員会準備会参加・テスト実施協力
- ・関東甲信越ブロック研修の実施（会員向け・オープンセミナー）
- ・年次大会分科会での報告（コレクティブインパクト事業）
- ・理事会、ブロック長合同会議への参加

##### **(2) 一般社団法人全国レガシーギフト協会**

遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立されました。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画しました。

- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。相談件数は3件。
- ・土業向け&NPO向け遺贈寄付セミナーを本協会在京5団体共催により開催
- ・遺贈寄付相談員研修への参加

##### **(3) ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク**

本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織です。

今年度は5月31日に第1回目となるソーシャルビジネスセミナーを開催し、NPO立ち上げや起業を考えている方、起業した方を対象にNPO法人コミュニティワークス理事長の筒井啓介さんより、自身の体験を通じたソーシャルビジネスのあり方についての基調講演をしていただきました。

##### **(4) その他**

- ・事務局長が印西市市民活動推進委員会に年6回出席し、主に企画提案型協働事業の審査にあたりました。
- ・助成申請案件以外にもNPO等からの相談対応を随時行いました。

#### **5. 財団運営活動**

##### **(1) 情報発信・啓発活動**

- ・ホームページ、ブログ、SNSによる情報発信を随時行いました。
- ・年次報告書（カラー16P）を作成し、寄付者や関係者に配布しました。

- ・大学等からの4件の講師依頼を受け、当財団の概要紹介、助成事業の紹介等を行いました。
- ・外部からのヒアリングに随時対応しました。

## (2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼並びにシェア会議やウェブサイトを活用して呼びかけを行いました。
- ・冠基金や助成業務契約等の依頼活動ができませんでした。

## (3) 当財団への寄付

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施しています。今年度は新たに銀行口座自動引き落としのシステムを導入し、マンスリーサポーターの募集を強化しました。その結果、サポーターは18名、寄付額は28万円となりました。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として約67万円の寄付を受領しました。
- ・税額控除に係る証明書の有効期間が7月3日までだったことに伴い、再度税額控除に係る証明申請を行い、2018年7月24日から2023年7月23日までの税額控除適用が可能となりました。個人からの寄付は、所得控除または税額控除のいずれかを選ぶことができます。

## 【法人運営（管理）事業】

### 1. 機関会議の運営

#### (1) 評議員会の開催

- ・第1回評議員会（2018年6月23日 書面決議）
  - 第1号議案 2017年度事業報告及び計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認
  - 第2号議案 理事の選任

#### (2) 理事会の開催

- ・第1回理事会（2018年5月23日18時～21時30分 当財団事務所）
  - 第1号議案 2017年度事業報告の承認
  - 第2号議案 2017年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）並びに財産目録の承認（監査報告）
  - 第3号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等
  - 第4号議案 評議員会に提出する理事名簿の承認
  - 第5号議案 倫理規程について
  - 第6号議案 寄付金取扱規程について
  - 第7号議案 助成等選考委員会設置要綱について
  - 第8号議案 助成等選考会規程について
  - 第9号議案 助成事業等の業務受託基準について

第10号議案 冠基金事業寄付取扱規定について

第11号議案 社会的連帯経済フォーラムちばについて

報告事項 事業の進捗報告

・臨時理事会（2018年6月19日 書面決議）

第1号議案 2018年度定時評議員会決議の省略手続きの承認

第2号議案 目的である事項について

第3号議案 議題に係る提案事項の承認

・臨時理事会（2018年6月30日 書面決議）

第1号議案 理事長の選定

第2号議案 副理事長の選定

第3号議案 専務理事の選定

・第2回理事会（2018年8月27日 10時～12時 当財団事務所）

報告事項 事業進捗報告、「子どもの今と未来を支える基金」助成先について、千葉日報福祉事業団との委託契約について

協議事項 運営資金の調達について

・第3回理事会（2018年11月30日 18時～20時30分 当財団事務所）

第1号議案 公益認定事業変更届について

第2号議案 寄付金取扱規程の改正について

第3号議案 多額の借財（借入れ）の承認

第4号議案 バックオフィス業務委託について

報告事項 事業進捗報告、事業指定助成プログラム第7期助成先について、業務執行理事の職務執行状況の報告、千葉県立入検査

・第4回理事会（2019年3月1日 18時15分～20時15分 当財団事務所）

第1号議案 2019年度役員報酬月額変更の承認

第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算書等の承認

報告事項 事業進捗報告、木村理事、伊藤評議員の辞任について、選考委員の再任、職員雇用契約について、業務執行理事の職務執行状況の報告

### （3）監査の実施

- ・監事が全4回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施しました。
- ・2018年5月8日に2017年度の監査を実施し、監査報告書を作成しました。

## 2. 役員に関する事項

### （1）評議員

伊藤昌教評議員は、一身上の都合により3月31日付で辞任されました。

### （2）理事

今年度は改選期であり、6月23日の評議員会において、以下8名の理事が選任されました。

有吉徳洋（再任）、岩永牧人（再任）、木村庸子（再任）、志村はるみ（再任）、関谷昇（再任）、平井晋也（再任）、牧野昌子（再任）、松田浩志（再任）

6月30日の臨時理事会において、理事の中から理事長、副理事長、専務理事を以下の通り選定しました。

理事長（代表理事）	関谷 昇
副理事長	有吉 徳洋
副理事長	牧野 昌子
専務理事	志村 はるみ

### （3）監事

今期中の就任、退任はありません。

## 3. 事務局体制

期首時点では3名（常勤2名、パートタイム1名）が在籍していましたが、4月末に1名が退職しました。

期末時点では2名（常勤1名、パートタイム1名）が在籍しています。

## 4. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っています。

Salesforce利用にあたっては、Salesforce社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいます。

※Salesforce：CRMクラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO法人等への無償提供プログラムなどCSRにも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>